

秋田県 7月の天候

令和8年（2026年）

秋 田 地 方 気 象 台
令 和 8 年 8 月 4 日

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

【特徴】

○ 高温・12日の大雨・下旬の多雨

1. 気象概況

〈天候の特徴〉

この期間、上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、中旬から下旬は前線や気圧の谷等の影響により曇りや雨の日が多く、大雨の所もあった。特に12日は、湯の岱で日降水量が観測史上1位の値を更新するなど、広い範囲で大雨となった。

月平均気温は高く、全地点でかなり高い。月降水量は多いまたは平年並。月間日照時間は平年並または少ない。（詳細は別添の「アメダス 気象分布図」を参照）

上旬 この期間、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、はじめは低気圧や気圧の谷の影響により、雨や雷雨の所があった。

旬平均気温は高く、ほとんどの地点でかなり高い。旬降水量は少なく、ほとんどの地点でかなり少ない。旬間日照時間は多く、ほとんどの地点でかなり多い。

中旬 この期間、前線や気圧の谷等の影響により、曇りや雨の日が多く、前半は大雨の所もあった。特に12日は、暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、広い範囲で大雨となった。

旬平均気温は高く、全地点でかなり高い。旬降水量は多い。旬間日照時間は少なく、かなり少ない所があった。

下旬 この期間、前線や低気圧等の影響により曇りや雨の日が多く、大雨の所もあった。旬平均気温は概ね平年並。旬降水量は概ね多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は少なく、かなり少ない所があった。

2. 日々の気圧配置

- 1日： 高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 2日： 前線が華中から九州付近をとって日本の東へのびる。また、前線上の低気圧が日本の東を東へ進む。
- 3日： 高気圧が千島近海を南東へ移動する。一方、日本海は気圧の谷となる。
- 4日： 高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 5日： 引き続き、高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 6日： 引き続き、高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 7日： 引き続き、高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 8日： 高気圧が日本付近を緩やかに覆う。
- 9日： 高気圧が本州付近を緩やかに覆う。
- 10日： 引き続き、高気圧が本州付近を緩やかに覆う。
- 11日： 北日本は気圧の谷となる。
- 12日： 引き続き、北日本は気圧の谷となる。また、低気圧が三陸沖を東へ進む。
- 13日： 引き続き、北日本は気圧の谷となる。また、低気圧が三陸沖を北へ進む。
- 14日： 引き続き、北日本は気圧の谷となる。
- 15日： 日本海を東北東へ進む低気圧から、前線が北日本にのびる。
- 16日： 前線が北日本を通過する。一方、高気圧が華北を東南東へ移動する。
- 17日： 高気圧が東北地方を緩やかに覆う。
- 18日： 前線が華中から朝鮮半島をって東北地方にのびる。
- 19日： 前線が華中から朝鮮半島をって北日本にのびる。
- 20日： 引き続き、前線が華中から朝鮮半島をって北日本にのびる。
- 21日： 引き続き、前線が華中から朝鮮半島をって北日本にのびる。
- 22日： 引き続き、前線が華中から朝鮮半島をって北日本にのびる。
- 23日： 前線が黄海から日本海をって東北地方にのびる。
- 24日： 前線が華北から朝鮮半島をって東日本にのびる。
- 25日： 前線が朝鮮半島から北陸地方をって関東の東にのびる。
- 26日： 前線が日本海から北陸地方をって関東の東にのびる。
- 27日： 高気圧が千島近海にほとんど停滞する。一方、低気圧が朝鮮半島を東南東へ進む。
- 28日： 低気圧が日本海を東南東へ進む。
- 29日： 北日本は気圧の谷となる。また、低気圧が日本海北部を南南東へ進む。
- 30日： 低気圧が日本海北部を南東へ進む。
- 31日： 低気圧が北海道付近を南南東へ進む。また、前線が華北から日本海にのびる。

3. 気象統計値

秋田、横手、鷹巣の旬・月統計値

要素		平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級区分	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級区分
秋 田	上旬	25.2	+3.1	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	94.1	201	かなり多い
	中旬	26.2	+3.1	かなり高い	118.5	178	多い	23.5	51	少ない
	下旬	25.0	0.0	平年並	185.0	337	かなり多い	28.6	50	少ない
	月	25.4	+2.0	かなり高い	303.5	154	多い	146.2	97	平年並
横 手	上旬	24.8	+2.5	かなり高い	4.0	6	かなり少ない	90.5	210	かなり多い
	中旬	26.2	+3.1	かなり高い	66.5	105	多い	19.2	44	かなり少ない
	下旬	24.7	-0.2	平年並	247.0	388	かなり多い	16.9	29	かなり少ない
	月	25.2	+1.7	かなり高い	317.5	163	多い	126.6	87	少ない
鷹 巣	上旬	24.3	+3.0	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	81.4	176	かなり多い
	中旬	25.5	+3.3	かなり高い	145.5	213	多い	21.5	46	少ない
	下旬	24.1	+0.1	平年並	100.0	167	多い	28.9	52	少ない
	月	24.6	+2.0	かなり高い	245.5	114	多い	131.8	88	平年並

※記号の意味：) 準正常値、] 資料不足値、× 欠測、一現象なし。平年値：1991～2020年の平均値

※2021年3月2日から、秋田を除く地点の日照計による日照時間の観測を終了し、「推計気象分布(日照時間)」による推計値を日照時間データとしています。これに伴い、平年値も推計値によるものに補正しています。

4. 極値・順位の更新

(1) 気象官署(秋田)：7月 として3位まで記載
なし

(2) 地域気象観測所(秋田を除く) 7月 として1位を記載(統計期間10年以上)

要素名	順位	地点名	観測値	起日	これまでの極値(起日)	観測開始年月
日降水量(mm)	1※	湯の岱	213.0	12日	136 (2004年7月17日)	1976/7/
日最大風速・風向(m/s)	1	八森	WNW 16.2	12日	WNW 14.0 (2024年7月1日)	1977/7/

*記号の意味：) 準正常値、] 資料不足値、× 欠測、= タイ記録、※ 通年の極値を更新

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=050000

【注意事項】

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、秋田は気象官署、その他は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は秋田地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「秋田地方気象台の資料によった」旨、記載してください。

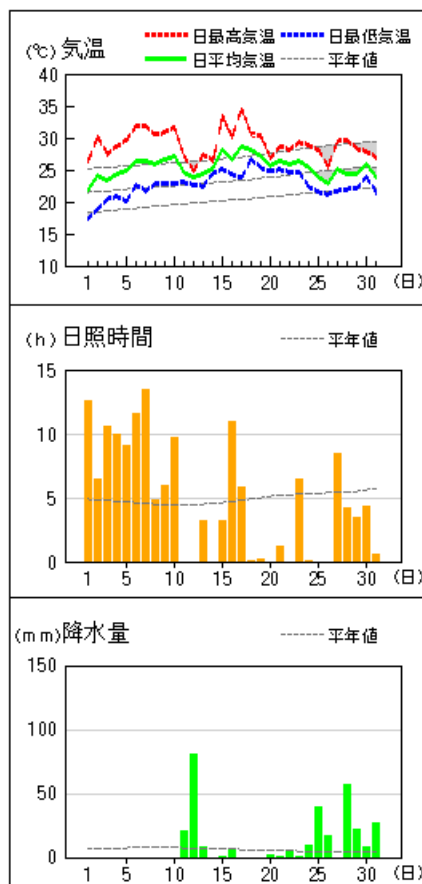
また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きによるものとします。

本資料に関する問い合わせ先
秋田地方気象台
電 話：018-864-3955

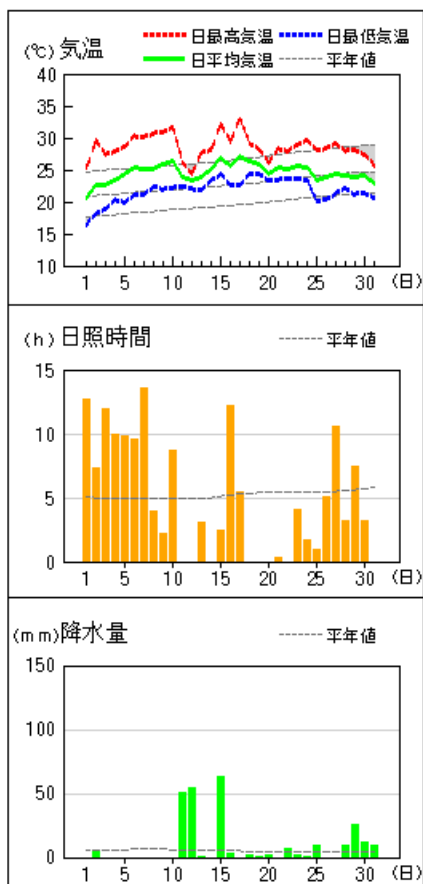
5. アメダス気象経過図

アメダス 気象経過図：2026年07月01日-2026年07月31日

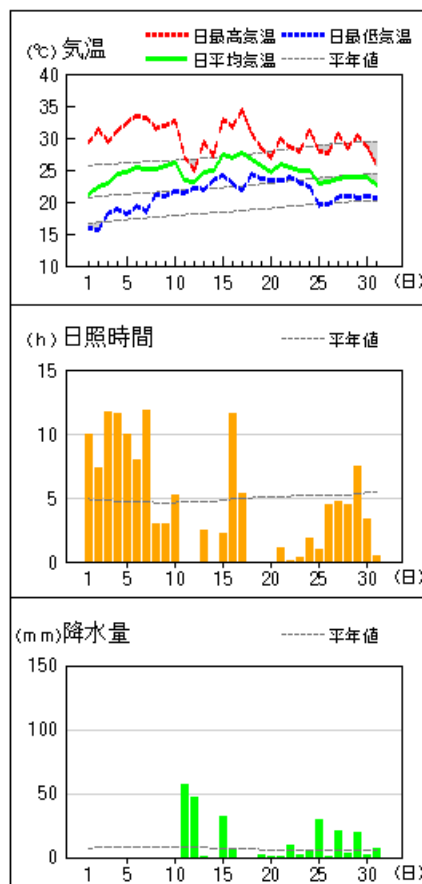
秋田



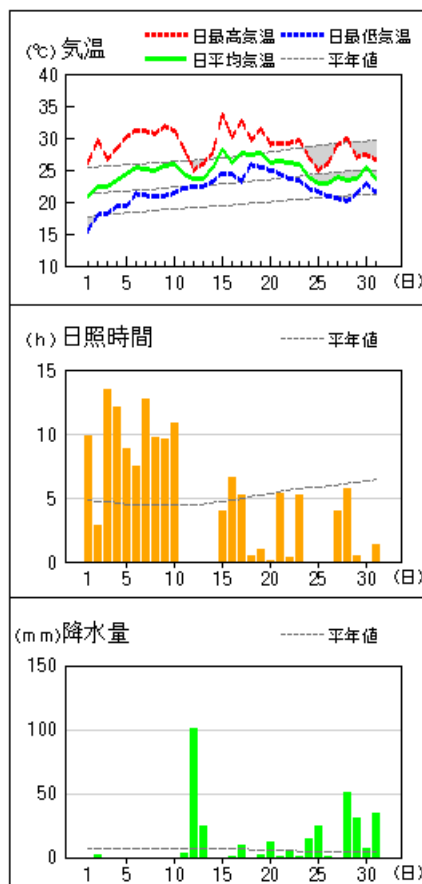
能代



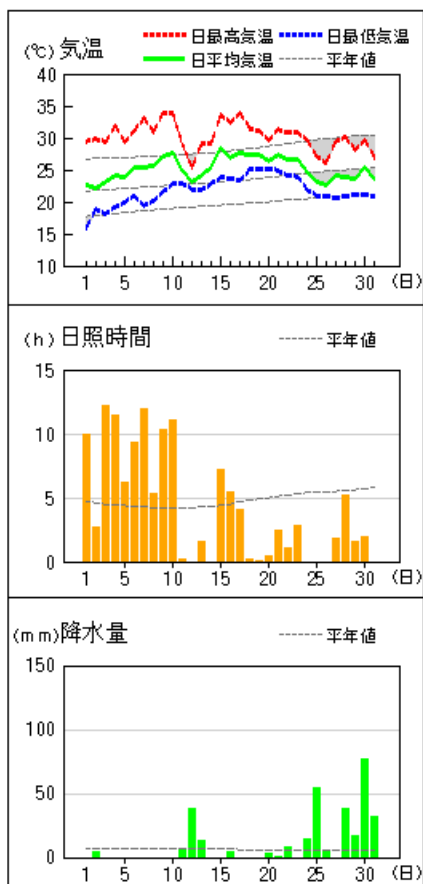
鷹巣



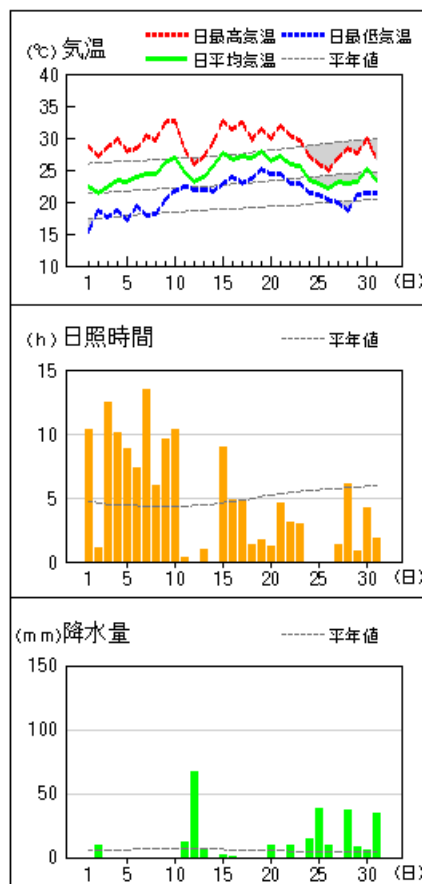
本荘



横手



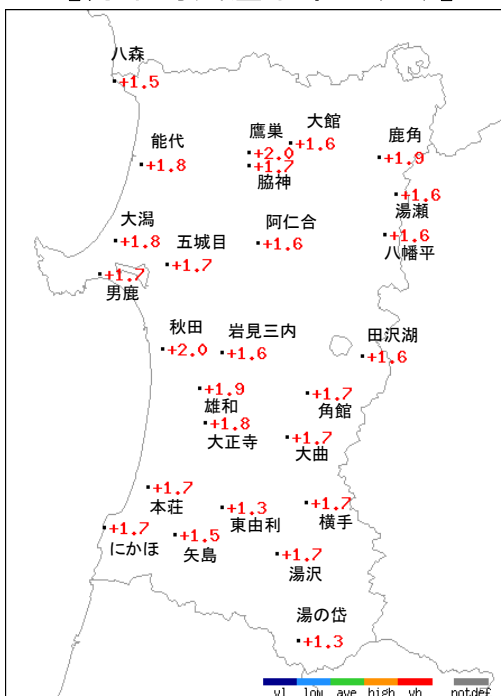
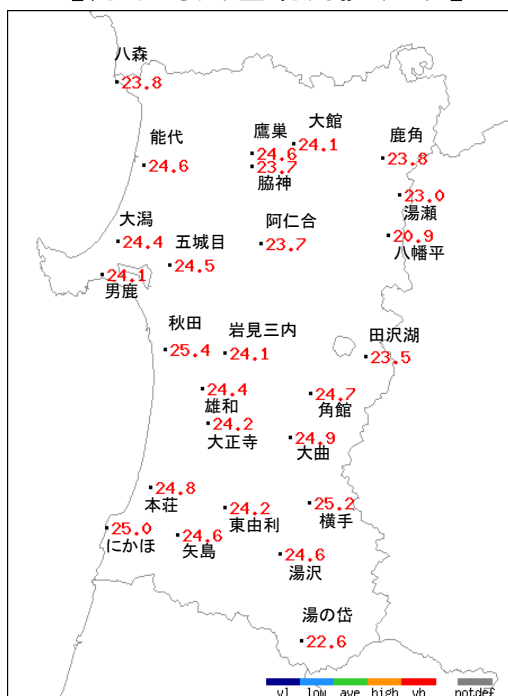
湯沢



6. アメダス 気象分布図 (1)月平均気温・月降水量 :令和8年(2026年)7月1日～7月31日

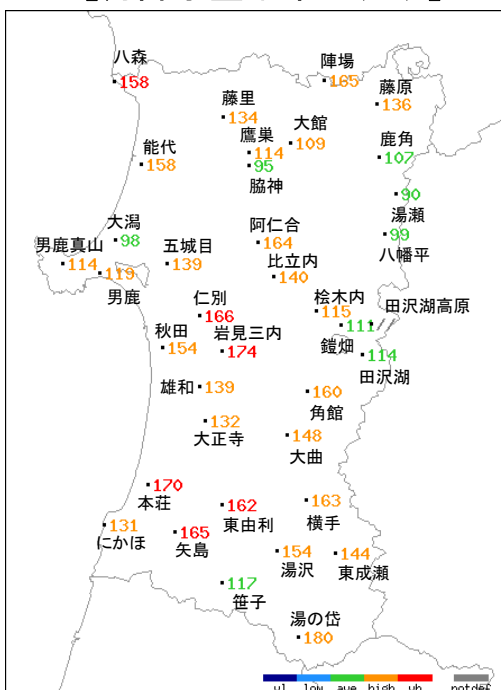
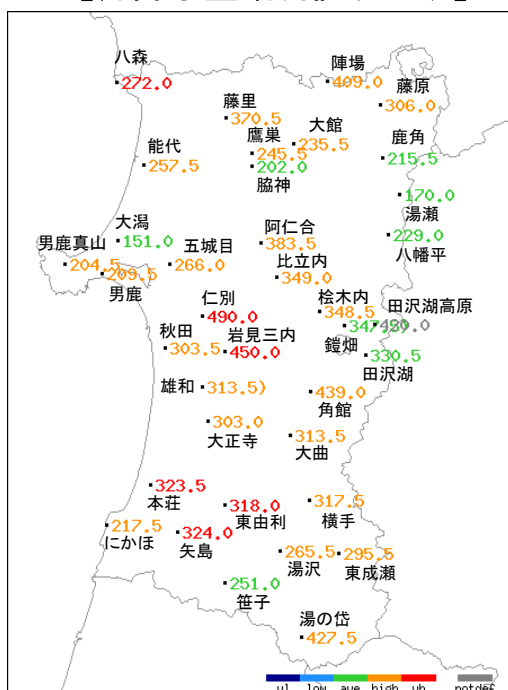
【月平均気温観測値(℃)】

【月平均気温平年差(℃)】



【月降水量観測値(mm)】

【月降水量平年比(%)】



notdef
階級区分なし

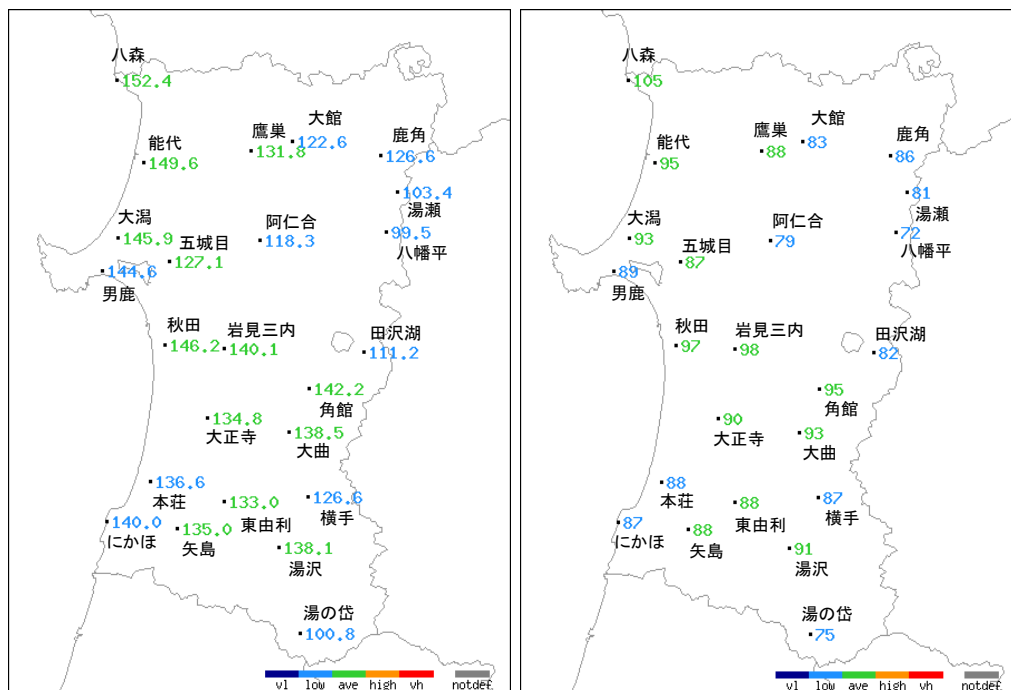
値	正常値
—	現象なし
値)	準正常値
値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

6. アメダス 気象分布図 (2) 月間日照時間

: 令和8年 (2026年) 7月1日～7月31日

【月間日照時間観測値(h)】

【月間日照時間平年比(%)】



vl low ave high vh
 かなり少ない 少ない 平年並 多い かなり多い

notdef
 階級区分なし

値	正常値
--	現象なし
値)	準正常値
値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし